



猫に「思い出」「推理能力」?

新型コロナウイルスの感染を防ぐために自宅で過ごす時間が増える中、ペットへの関心が高まっている。特に猫は、4年前に国内の飼育数が犬を初めて上回って以来、リードを守り続けている。猫の心に関する研究も進み、愛猫家の「猫かわいがり」はますます熱を帯びそうだ。

興味深い実験

「猫は思い出を忘れない」。猫派の心をくすぐるような研究成果を発表したの

は、麻布大の高木佐保・特別研究員(30)だ。

皿4枚を用意し、2枚に餌、1枚にヘアピンを置き、1枚は空にして、猫に1枚分

の餌を食べさせた。いったん連れ出し、全て空の皿に交換して連れ戻したところ、食べ損ねた餌があった場所に置いた皿の付近にとどまる猫が相次いだ。

高木さんは「どこに何があったのかを覚えている『エピソード記憶』、つまり思い出を持っている可能性がある」と語る。

推理能力もあるらしい。箱の中にスピーカーを仕込み、「ガラガラ」という音を聞かせながら箱を振ってひっくり返す実験で、中からおもちゃが出てくる場合と出てこない場合の反応を調べた。何も出てこない時は箱をじっと見つめていたという。「中に何か入っているはず」と推理していると考えられる。

ただ、猫の研究は難しい。知らない人に囲まれると、文字通り「借りてきた猫」状態になるため、実験がうまくいかないそう。内心を伝える表情が乏しく、変化も捉えにくい。

飼い猫の人懐っこさ 遺伝子由来?

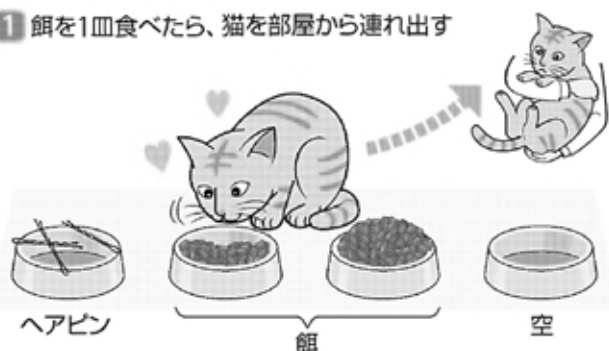
飼い猫(イエネコ)の遺伝学的な特徴も明らかになってきた。

動物医療の研究所が、ライオンやツシマヤマネコなどの野生種とイエネコの遺伝子を比較したところ、愛情や絆

に関わるホルモンを受け取るための遺伝子に違いがあることがわかった。人との長年の生活を通して、人なつっこい猫が選択されてきた結果、飼育に適した性格に「進化」した可能性がある。

(2021年3月18日 読売新聞朝刊より)

① 餌を1皿食べたら、猫を部屋から連れ出す



② 四つの皿を空にする

15分後

③ 餌を食べ損ねた皿に向かい、餌を探す



1 記事で紹介されている実験では、図の①～④の皿のうち、多くのネコが近寄った皿はどれだと判断できますか。答えましょう。

2 記事の中に登場する「猫派の心をくすぐる」「『借りてきた猫』状態になる」とは、どのような様子のことを言っていますか。それぞれについて下の①～④からそれぞれ最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

・猫派の心をくすぐる () ・「借りてきた猫」状態になる ()

- ① 感情を刺激されて戸惑い、むずむずしてもどかしい様子
- ② 普段と違う状況を感じ取り、いつも通りにできない様子
- ③ 恐怖心や驚きを隠せずに、顔や体が固まってしまう様子
- ④ 好奇心や欲をかきたてられて、気分がよくなる様子

3 記事全体の特色を説明したものとして、適切なものを次の中から全て選び、番号を書きましょう。

- ① 具体的な数字を挙げながら、犬より猫の方が優れていることを伝えている。
- ② テーマの「猫」に関連する表現を取り入れ、文章に工夫を凝らしている。
- ③ 言葉だけではわかりづらい部分について、順を追ったイラストで示している。
- ④ なぜ飼い猫だけが「進化」したのか、様々な研究成果から解き明かしている。